

# 連結財務諸表

町田市の決算を民間企業方式で見ると、どうなっているでしょうか



市では1年間にどのくらいの収入があり、何にいくら使ったかという「こづかい帳方式」で経理を行っています。この方式は、現在どれだけの資産や借金があるのか、行政サービスを提供するのにどのくらいのコストがかかっているのか分かりにくいのが難点です。そこで、「民間企業方式」の決算報告書を、一般会計とすべての特別会計、町田市が加入している一部事務組合や関連する団体分を合算した「連結財務諸表」として作成しました。

## 貸借対照表

住民サービスを提供するためにどれだけの財産を持ち、その資産形成はどのような資金で賄ったか

(2012年3月31日時点)

【資産の部】		【負債の部】	
I 流動資産	270億円	I 流動負債	125億円
うち現金預金	113億円	II 固定負債	1501億円
II 固定資産	1兆6243億円	うち市債・長期借入金	1294億円
1.事業用資産	4352億円	うち退職手当引当金	202億円
2.インフラ資産	1兆1646億円	III 繰延収益	1460億円
3.重要物品	49億円		
4.建設仮勘定	35億円	負債の部合計	3086億円
5.投資その他の資産	134億円	【純資産の部】	
うち基金積立金	129億円	純資産	1兆3430億円
6.その他固定資産	27億円		
III 繰延勘定	3億円	純資産の部合計	1兆3430億円
資産の部合計	1兆6516億円	負債・純資産の部合計	1兆6516億円

## 行政コスト計算書

1年間の行政サービスに要した費用とその財源としての収入はどのくらいか

(2011年4月1日～2012年3月31日)

【通常収支の部】	
I 行政収支の部	
1.行政収入(市税など)	2280億円
2.行政費用(扶助費、物件費など)	2299億円
行政収支差額	△19億円
II 金融収支の部	
1.金融収入(受取利息、配当金)	0億円
2.金融費用(公債費(利子))	27億円
金融収支差額	△27億円
通常収支差額	△46億円
【特別収支の部】	
1.特別収入(固定資産売却益など)	4億円
2.特別費用(不納欠損額など)	12億円
特別収支差額	△8億円
当期収支差額	△54億円

※行政コスト計算書の費用には、現金支出を伴わない減価償却費等が含まれています。

## キャッシュ・フロー計算書

市のどのような活動で資金(現金)が使われ、増減したか

(2011年4月1日～2012年3月31日)

I 行政サービス活動	
収入(市税など)	2259億円
支出(扶助費、人件費など)	2166億円
行政サービス活動収支差額	93億円
II 社会資本整備等投資活動	
収入(国庫・都支出金など)	197億円
支出(投資的経費など)	343億円
社会資本整備等投資活動収支差額	△146億円
III 財務活動	
収入(市債)	172億円
支出(公債費(元金))	103億円
財務活動収支差額	69億円
収支差額合計	16億円
前年度からの繰越金	97億円
形式収支	113億円

## 純資産変動計算書

貸借対照表上の純資産が1年間にどのよう要因で増減したか

(2011年4月1日～2012年3月31日)

前期末残高(2011年3月31日時点)	5951億円
当期変動額	7479億円
固定資産等の増減	7558億円
その他内部取引による増減	△25億円
当期収支差額	△54億円
その他の増減	-億円
当期末残高(2012年3月31日時点)	1兆3430億円

※純資産変動計算書の固定資産等の増7558億円は、「開始貸借対照表」の整備に伴い、新たに道路の受贈財産等の評価を行ったことによるものです。

市では、2012年4月から、日々の会計処理で複式簿記を行う新公会計制度を導入しました。導入にあたり、市の所有する資産及び負債の情報を「開始貸借対照表」として整備しました。2011年度決算の貸借対照表にはこの情報を反映しています。詳細は、冊子「町田市の財政」をご覧ください。

2011年度の決算状況や財務諸表の詳細内容は、冊子「町田市の財政」をご覧ください。冊子は、町田市ホームページや市政情報やまびこ、各市立図書館で12月14日からご覧いただけます。また、市政情報やまびこでは400円で販売します。

# 2012年度の上半期財政状況

2012年度上半期(2012年4月1日～9月30日)の予算の執行状況や2012年9月30日現在の市債(長期借入金)の状況などをお知らせします。

※金額等は、表示単位未満を四捨五入しています。また、四捨五入による端数調整を行っているため、合計値等と合致しない場合があります。

## 一般会計・特別会計予算の執行状況

会計	予算現額(a)	収入済額(b)		支出済額(c)		
		収入済額	収入率(b/a)	支出済額	執行率(c/a)	
一般会計	1378億2242万円	694億1967万円	50.4%	532億7158万円	38.7%	
特別会計	国民健康保険事業会計	428億6344万円	189億2073万円	44.1%	179億2624万円	41.8%
	下水道事業会計	121億2659万円	51億2175万円	42.2%	37億4034万円	30.8%
	忠生土地区画整理事業会計	1億3130万円	9445万円	71.9%	7999万円	60.9%
	介護保険事業会計	247億3604万円	109億3380万円	44.2%	101億7900万円	41.2%
	後期高齢者医療事業会計	75億1600万円	32億1228万円	42.7%	24億7581万円	32.9%
	小計	873億7338万円	382億8301万円	43.8%	344億139万円	39.4%
	合計	2251億9579万円	1077億269万円	47.8%	876億7296万円	38.9%

## 公営企業会計(町田市民病院)の状況

町田市民病院の予算の執行状況、利用状況と料金収益は下表のとおりです。

区分	予算現額	収入済額		患者数		料金収益
		収入済額	収入率	入院	外来	料金収益
収益的収支	収入	128億933万円	60億838万円	46.9%	63,909人	35億2509万円
	支出	137億4807万円	62億393万円	45.1%	162,603人	15億9379万円
資本的収支	収入	2億2587万円	2億2586万円	100.0%		
	支出	12億161万円	5億6036万円	46.6%		

## 市債の状況

市債とは、主に、都市計画道路・公園・下水道・学校など、公共施設整備の資金として市が借り入れたお金です。市債の元金及び利子を、施設の耐用年数の範囲内で償還していくことにより、整備をしたときの市民と将来利用する市民の世代間で負担の公平を図っています。

会計	元金現在高	(参考)元金現在高に対する利子の支払見込額
一般会計	658億2368万円	65億6136万円
下水道事業会計	515億7279万円	124億3768万円
病院事業会計	151億9916万円	35億7816万円
合計	1325億9563万円	225億7720万円

## 市有財産の状況

市では、集会施設・学校・市役所庁舎などの建物や、これら施設の敷地となっている土地、取得価格100万円以上の物品、有価証券、債権などの財産を所有しています。

財産の種類	現在高
土地(公園、学校など)	683万6384.10㎡
建物(学校、下水処理施設など)	95万2357.10㎡
物権(地役権、地上権)	1140.16㎡
無体財産権(著作権、商標権など)	58件
有価証券(株券)	2660万円
出資金	25億4118万円
物品(美術品、学校備品など)	1613点
※取得価格100万円以上	
債権(貸付金、和解金など)	1億4337万円
基金積立金	133億9254万円

市区町村で全国初!

# 2012年4月から、企業会計の考え方を取り入れた「新公会計制度」を導入しました

市では、市民の皆さんへの更なる財務情報の開示を進めるとともに、現行の官庁会計に不足している資産や負債、事業コストの情報を整備し、財務マネジメント改革を行うため、「新公会計制度」を導入しました。この制度は、日々の会計処理に複式簿記・発生主義という企業会計の考え方を取り入れたものです。全国の基礎自治体(市区町村)では町田市が初めて導入しました。

官庁会計では、市民の皆さんの疑問に答えられません

○町田市の資産はいくらあるの?



○将来負担すべき負債はどのくらいあるの?



○施設を運営するコストや、今後維持するためには、どのくらいお金がかかるの?



こうした疑問も財務諸表では一目でわかります

## 町田市貸借対照表

資産	負債
現金	
土地	
建物	純資産

資産・負債の状況が一目でわかります

## 〇〇市民センター行政コスト計算書

行政費用
人件費
物件費
減価償却費
金利

これまで見えなかったコストが明らかになります